

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和一年一月一日 (第一回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	浜松市 22130
地域名 (地域内農業集落名)	春野地区 (別紙1のとおり)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	409.0 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	409.0 ha
② 田の面積	51.9 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	357.1 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.5 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	10.4 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	16.2 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	2.1 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・耕地は集落単位で分散していて主に茶園で利用されている。川沿いの低地部では水稻作や露地畑作、ハウス畑作で利用されている。
 ・山間地だが尾根を利用した比較的緩斜面に整備されたまとまった茶園が多い。良好な茶園が維持され高品質な茶が生産されているが、小区画や園内耕作道未整備の園地も多い。
 ・まとまっている茶園集落では拡大希望の担い手は多いが、多くの集落では担い手がないため自給農家のリタイアに伴い荒廃農地が増えている。

【地域の基礎データ(R5.1担い手アンケート)】

・担い手農業者33名(69歳以下又は70歳以上後継者あり31名、70歳以上後継者なし1名、回答なし1名)茶産地
 ・主な営農類型:水稻作0名、露地畑作3名、ハウス畑作3名、露地果樹0名、ハウス果樹2名、茶22名、花木2名、畜産1名、その他0名

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・農協や大規模担い手により形成された作物産地の維持・発展を図る。(茶、花木)
- ・担い手間の利用調整を進め、担い手ごとにほ場の集約化を図り、各々の耕作作業の効率化を図る。まとまったほ場の確保により、将来的なドローン利用や作業の自動化などスマート農業の導入の可能性を高める。
- ・担い手耕作地の集約化に支障となっている荒廃農地の再生利用を図る。
- ・リタイア時の耕作地やハウス等の農業施設の引継ぎ方法の確立、地域への周知浸透を図る。
- ・有機栽培の拡大を進め、地域ブランドの確立(高付加価値品目)による農地利用の拡大を図る。
- ・茶園地では基盤整備事業等により、耕作道の再整備、区画整理等を進め、効率的で低労力の耕作作業ができるようにする。
- ・担い手不在地区については、山暮らしや田舎暮らし回帰などの新しいライフスタイル等を通じた農業経営以外の担い手確保による地域維持と農地利用を模索する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
認定農業者等へ農地の集積を進める。担い手のリタイア時にはその耕作地を、他の担い手(同種作物を優先)に適切に継承する。集団農地では耕作地の交換等により、担い手ごとの耕作地の集約化(団地面積の拡大)を図る。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	26 %	将来の目標とする集積率	80 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
ほ場交換等により集団化(集約化)を行っている集団農地はなし(永年作物中心の地区のため) → 拡大希望の担い手耕作地の隣接農地の農地集積を進める。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
農業委員会(農業委員・推進委員)の農地利用最適化活動や農協、土地改良区による農地集積事業(定期的な貸出農地募集→利用調整の事業)により、担い手を中心に農地中間管理事業を活用した農地の利用集積を進める。集団農地では耕作地の集団化(集約化)のための耕作地交換を進める。 【農地集積・集約化の取組み】 ・茶園集積推進事業(五和、石打松下、花島、川上、堀之内、砂川) ※茶園の集積に伴う軽微なほ場整備への助成
(2) 農地中間管理機構の活用方法
農地中間管理事業の農地利用の交換・集約機能を活用するため、まずは農地中間管理機構への貸付の拡大を図る。その後、農地中間管理事業の農地利用の交換・集約機能を活用し、担い手リタイア時の耕作地の適切な継承や、担い手個々の耕作地の段階的な集約化(集団化)を図る。
(3) 基盤整備事業への取組 (○実施中 ●計画中)
なし
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
現存の担い手による農地利用を優先しつつ、必要に応じて地域外から多様な経営体を募り、担い手として育成していく。また山暮らしや田舎暮らし回帰など新しいライフスタイル等による農業経営以外の担い手確保による農地利用を検討する。農業委員会の農地利用最適化活動や、県、静岡県農業振興公社、農協、行政の移住支援部署等と連携し、相談から農地選定など切れ目ない支援に取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
なし

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑩その他
【選択した上記の取組内容】				
①電柵等設置による獣害対策				
②有機栽培の拡大などによる地域ブランドの確立(高付加価値品目化)				
⑤産地維持のための基盤整備事業等による茶樹作の作業効率化の機運醸成				
⑦地域環境保全活動(中山間直接支払)…高杉、花島牧野、越木平・モチクイド砂川集落協定				
⑩山暮らしや田舎暮らし回帰など新しいライフスタイル等による農業経営以外の担い手確保による農地利用の検討				

(別紙1)

地域計画の地区	地区	農業集落名
春野	春野	犬居町・和泉平
春野	春野	犬居町・静修
春野	春野	犬居町・平野
春野	春野	犬居町・平尾
春野	春野	犬居町・昭和
春野	春野	犬居町・若身
春野	春野	犬居町・犬居
春野	春野	犬居町・東領家
春野	春野	犬居町・中山
春野	春野	犬居町・西領家
春野	春野	気多村・河内
春野	春野	気多村・高瀬
春野	春野	気多村・久保田
春野	春野	気多村・里原
春野	春野	気多村・平木
春野	春野	気多村・仇山
春野	春野	気多村・気田下
春野	春野	気多村・気田中
春野	春野	気多村・気田上
春野	春野	気多村・金川
春野	春野	気多村・郷島
春野	春野	気多村・山路
春野	春野	気多村・赤岡
春野	春野	気多村・篠原
春野	春野	気多村・野尻
春野	春野	気多村・植田
春野	春野	気多村・勝坂
春野	春野	気多村・石切
春野	春野	熊切村・長蔵寺
春野	春野	熊切村・石打松下
春野	春野	熊切村・田黒
春野	春野	熊切村・筏戸大上
春野	春野	熊切村・杉第一
春野	春野	熊切村・杉第二
春野	春野	熊切村・杉第三
春野	春野	熊切村・川上第一

春野	春野	熊切村・川上第二
春野	春野	熊切村・田河内
春野	春野	熊切村・越木平
春野	春野	熊切村・牧野
春野	春野	熊切村・花島
春野	春野	熊切村・大時
春野	春野	熊切村・砂川
春野	春野	熊切村・胡桃平
春野	春野	熊切村・五和